

# ひかり

一般社団法人

# 光陽福祉会

発行日 平成 27年10月 第63号

## 新たな“光”

中島 由貴

光陽福祉会の由来を皆さま、ご存知でしょうか？

NPO法人夢んぼの岐阜支店として始まった“サポートセンターつぼみ”

そしてその約1年後に誕生した“光陽福祉会” 今年の5月で丸6年を迎えました。マークはあの〇〇銀行からのインスピレーションで決まったことは内緒なんですけど…(笑)

6年目の今年 親社屋・第三光陽の地鎮祭を先日9月18日に無事に執り行うことができました。光陽の強力助っ人として支えてくださる保護者様、企業様があつてこそです。

当日は光陽福祉会の地鎮祭としては初めての快晴！(笑)毎回、「雨降って、地固まる…」から始まる地鎮祭でしたが、今回は「快晴に恵まれて…」で始めることができました(笑)

私はひそかにドシャ降りを予想していたので、驚きの快晴でしたが、やはり晴れるのも嬉しいことです(\*\_\*)

第三光陽…就労部門と高等部が入ります。9月には第三光陽の説明会を行いました。この説明会を行うといよいよ始まるんだな…と感じます。保護者様、職員、そして子どもたち・利用者の方々のいっぱい期待とそして少しの不安な想いも詰まって平成28年3月に、スタートを切ります。

最近、文頭にも書いた光陽福祉会の由来を思い出すことがよくあります。光陽の原点ですよ。光陽福祉会は字のごとく、光に太陽の陽。

それは、“光”になれる場所でありたいという想いから生まれました。

子育てと言うゴールのない長い長い真っ暗なトンネルの中にいるような気持ちを感じてみえる保護者の方々の一筋の光になれる場所＝光陽福祉会で有り続けたいという想い。

そして私は子どもたちと向き合う中で保護者の方々に是非知ってもらいたいと思うことがあります。それは子どもたちの「できた！」の瞬間まで一緒に頑張りそして一緒に「やったー！！」と言えること、保護者の方々とお子様の一步の成長を一緒に喜び合えることが私達職員にとって“光”であるということです。保護者の方々の“光”になれたら…という想いで始まりましたが、もしかしたらその光は互いに照らし合っで見付ける輝きなのかもしれないと感じます。

この原点から変わらない想いと、変化し続けるというモットーで、新たな光へと進んで行きたいと思えます。



## きっずサポートはぐくみ

### 散歩に行こう♪

増田 彩加

9月に入り、じりじり日差しも和らいで過ごしやすい季節になりました。はぐくみちゃん達も散歩に出かける事が増えてみんな嬉しそうです。その中で交通ルールを守って安全に歩く！これは大切なことですね。「車来たよ！」の声掛けで端にストップ！して気を付けられること、ペアの友達と最後まで手を繋いで歩くこと等、身につけたいことがたくさんあります。お子さんの中には敏感な感覚を持っている子がいたり、体力がなく疲れやすい子もいます。張り切って「行ってきます」して、帰り道は疲れて「イヤイヤ」何てことも…。これから少しずつ歩ける距離を伸ばしていき、行動範囲を広げていけたらと思います。繰り返し大事なことを子ども達に伝えていきたいです。

また、楽しむ時間も大事ですね。とんぼやバッタを見つけたり、猫じゃらしやススキを摘んで遊んだり、ひつつきむしの草花を服にくっつけたり、外には魅力的なものがいっぱい。こういった自然見つけ・自然遊びも散歩を通して触れていけたらなあと思います。



## サポートセンターつぼみ

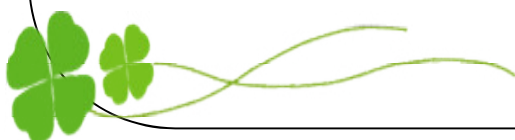


### 夏休みの思い出

増田 彩加

夏休みのつぼみは、ドリームシアターでの体験学習、外食バイキング、夏祭りに向けてなど色々な活動に取り組みました。その中でも、印象深いのが流しそうめんです。流れてくるそうめんやお楽しみの具材、トマト、ウィンナー、きゅうり、アイスクリーム等をキャッチして食べます。みんな食べることが大好きなので、キャッチする為に集中！「今だ」「来たよ！」と職員も掛け声でお手伝い。でも、「あっ行っちゃった！！次こそ！」「やったあ！ゲット」等、嬉しい悔しい反応がたくさん(笑)流れる具材をタイミング見てキャッチするのって大人でも難しいですよね。この夏、経験するごとにみんな上手になっていったように思います。初めの回では上手にとれずカゴにいっぱい残ってしまったそうめんも少しずつ減り、夏祭りの日(最終回)には残らずに全部ペロリ！みんなで行う流しそうめんは、美味しさ倍増でとっても盛り上がりました。

また、協力して快く流しそうめんセットを貸して下さった保護者様にも感謝です。こうした活動の中で、楽しい思い出をつくりながら療育を行っていききたいなと感じました。



## 第2光陽

### 54歳、奮闘中

島塚立江

ある日の帰りのバス。

Aさん「先生聞いて。今日〇〇先生やったの。嬉しかったあ〜」私「よかったねえ」

Bさん「送迎表見せて。やった〜！明日のバス△先生や！」私「よかったねえ。」(今日、私でご不満か?)

Cさん「明日の部屋、□先生にならんかなあ」私「なるといいねえ」(今日、私の部屋でごめんなさいね)

Dさん「でもみんな、島先生のことも好きやろ？」

みんな「……………う、うん……。」

そのお気遣い、逆に私傷付きます。

また、ある日は、私「つぼみの男の先生は皆カッコイイし、女の先生はキレイやねえ。」

Eくん「でも、島先生はオバアチャン」

今、第2光陽は若いスタッフでパワー全開。若いスタッフの元気とやる気が子ども達に伝わり、皆、若い先生が大好き。療育に遊びに子ども達と一緒に全力投球。第2光陽は活力あふれる場となっています。

そして私。すでに定着した唯一の嫌われキャラ。子ども達にとっては避けたい怖い存在。でもその厳しさって、皆の将来を見つめ、今後に向けて何を身に付け、何が必要かを真剣に考え、情熱をもって向き合っているからなんですけど……。みんなのことが、大好きだから、ついつい力が入ってしまいます。私のこの大きなお腹は、みんなへの思いで膨らんだのかも！？

実は先日、私の好き好き光線をキャッチした男の子と目が合った瞬間、「でもね！僕、島先生とは結婚しないから！」といきなりの宣言！いつまでたっても片思いです。しかし、みんなに伝わらなくても、私の愛情の押し売りは今後も続きます。

## ワークサポート光 就労移行支援

### 半年が経過して

水向 美央

就労移行支援事業所は、訓練期間が「2年間」と期間が決められています。2年間は長いようで短い期間なのです。私達職員にとって、スタートと同時にカウントダウンが始まります。その中で、学生から社会人へと変身！！とともに働く力、そして生きる力(生活力)のスキルアップを図っていく必要があります。その為には、その場その都度の指導が欠かせません。時には、厳しく…時には褒めて認めて…その繰り返しでメンタル面の成長も同時に図っていきます。

ここに通り始めて半年が経過した今、半年の成長を感じています。しかし、これからの課題が浮き彫りになってきていることも事実です。一人一人の仕事に対する意識は大きく変化してきており、また報告といった仕事のルールが少しずつ身につけてきています。意識が継続してきたからこそ習慣になってきたのかな♪また、技術も徐々にレベルアップしています。その反面、集中力・協調性、コミュニケーションの大きな壁が……。これは、実は本当に難しい。答えがないから……。それでも、社会と触れ合う事で「知る→学ぶ→気づく→実践」の繰り返しから自分のモノへとしていく彼らもいるのです。スモールステップを踏みながら、ほんの少しの意識から進んでいけたらと思っています！！